

平成 21 年  
11 月 25 日

# 病害虫発生予報 12月号

茨城県病害虫防除所  
茨城県植物防疫協会

全ての農作物に残留農薬基準が設定されています！！

薬剤散布の際は周辺作物へ飛散しないよう十分注意しましょう

## < 目次 >

### . 今月の予報

#### 【注意すべき病害虫】

イチゴ：うどんこ病	1
イチゴ：ハダニ類	1

【その他の病害虫】	2
イチゴ・促成ピーマン	

### . 病害虫ミニ情報

ナシを加害するカイガラムシ類の休眠期における防除対策について	3
--------------------------------	---

. 今月の気象予報	5
-----------	---

. テレホンサービス	5
------------	---

029(226)5321

農薬登録速報については、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」

<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html> 内の登録速報を参照してください。

詳しくは、病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445

予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

・ 今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ

1. うどんこ病

[ 予報内容 ]

発生時期	発 生 量	発生地域
	多い	県下全域

[ 予報の根拠 ]

11 月下旬現在，イチゴうどんこ病の葉における発生は，発病葉率及び発生地点率とも平年より高い。なお，果実における発生は平年並である。

気象予報によると，向こう 1 か月の気温は高く，降水量は平年より多く，日照時間は平年並か少ないと予想されている。

[ 防除上注意すべき事項 ]

発生が多くなると防除が困難になるため，初期防除を徹底する。

薬剤は，薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で，丁寧に散布する。また，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，系統の異なる薬剤を散布する。

ミツバチ導入後は，ミツバチに影響する薬剤もあるので，十分注意する。

り病部は新たな伝染源となるため，病葉はできるだけ取り除き，ハウス外に持ち出して処分する。

薬剤によっては，薬害や果実への汚れを発生するものもあるので，使用にあたっては十分に注意する。

( 11 月 25 日発表の病害虫情報 No.12 参照 )

2. ハダニ類

[ 予報内容 ]

発生時期	発 生 量	発生地域
	やや多い～多い	県下全域

[ 予報の根拠 ]

11 月下旬現在，被害葉率及び発生地点率は平年よりやや高い。

気象予報によると，向こう 1 か月の気温は平年より高いと予想され，発生を助長する条件である。

[ 防除上注意すべき事項 ]

ハダニ類は増殖が速いので，発生の少ないうちに防除を徹底する。

薬剤は，薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で，丁寧に散布する。また，薬剤抵抗性ハダニ類の出現を防ぐため，同一薬剤の連用はさける。

ミツバチ導入後は，ミツバチに影響する薬剤もあるので，十分注意する。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	アブラムシ類	発生量：やや多い	11月下旬現在，平年並～やや多い発生である。向こう1か月の気温は平年より高いと予想され，発生を助長する条件である。
促成ピーマン	うどんこ病	発生量：平年並 ～やや多い	11月下旬現在，平年並～やや多い発生である。
	アザミウマ類	発生量：平年並	11月下旬現在，平年並の発生である。

## ナシを加害するカイガラムシ類の休眠期における防除対策について

カイガラムシ類は、ナシをはじめブドウ、カキ等でも近年増加傾向にあります。今年発生が多かった園では、来年に備え休眠期に防除対策を行いましょう。ここではナシを加害するカイガラムシ類の休眠期における防除対策を紹介します。

### 1.カイガラムシ類の被害と防除対策について

ナシを加害する主なカイガラムシ類には、クワコナカイガラムシ(写真1)、マツモトコナカイガラムシ、フジコナカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ(別名サンホーゼカイガラムシ)(写真2)、ツノロウムシ等があります。

カイガラムシ類の防除は、発生初期に行うことが重要ですが、防除適期を見逃してしまうとその後は防除効果があがらず、果実の奇形や着色むら等の被害を生じることがあります。さらに発生が多くなると、すすが生じ果実の商品価値が損なわれたり、枝の枯れ込みが生じたりすることもあります。

生育期に多発生した園では、さらに休眠期の防除対策を行うことが重要になります。



写真1 クワコナカイガラムシ



写真2 ナシマルカイガラムシ  
(埼玉県病害虫防除所提供)

### 2.休眠期の防除対策について

主な方法は以下の通りです。なお、カイガラムシ類の種類によって有効な方法が異なるので、表を参考にして防除対策を選んでください。

#### バンド捕殺

コナカイガラムシ類は、枝幹の粗皮のすき間等で越冬するため、バンド捕殺によって越冬虫を減らすことができます。これは、9月中旬頃までに主枝等に誘引バンド(紙製の米袋や布等)を巻き(写真3)、このバンドの下に産み付けられた越冬卵や潜り込んだ越冬虫を処分する方法です。9月にバンドを設置した園では、越冬虫が活動を始める前の冬季(12月から2月まで)のうちにバンドを取り外して、バンドとその下にいる越冬虫を処分してください。

#### 粗皮削り、誘引ひもの更新

冬季に粗皮削りを行うことにより、枝幹の粗皮のすき間等の越冬虫(卵)の密度を低下させることができます。また、ハダニ類と同様にコナカイガラムシ類等も枝を誘引するひもの下で越冬することがあるので、誘引ひもは処分し、更新しましょう。

#### 虫体のこすり落とし、寄生枝の切除

剪定時に、虫体を見つけたら竹べら、たわし、ワイヤブラシ等でこすり落とします。また、寄生の多い枝は、切除します。特にナシマルカイガラムシは、寄生を受けて弱った枝に集中的に発生する傾向があり、枝を枯死させることがあるので、このような枝はできる限り全て切除してください。

### マシン油乳剤の散布

特に多発生した圃場では、粗皮削りをした後にマシン油乳剤を散布します。散布は、厳寒期を避け、12月または3月の発芽前までに、温暖で風のない時に行ってください。

樹勢の弱った樹では、マシン油乳剤の散布によって枝の枯れ込みが多くなるので、注意してください。

マシン油乳剤と石灰硫黄合剤の近接散布は薬害を生じるおそれがあるため、3月の発芽前にマシン油乳剤を散布した場合、石灰硫黄合剤は使用しないでください。



写真3 ナシの主枝に設置した誘引バンド

表 ナシを加害する主なカイガラムシ類の特徴と休眠期の防除対策

種類	コナカイガラムシ類	ナシマルカイガラムシ (サンホーゼカイガラムシ)	ツノロウムシ
被害の様子	袋かけ後、袋の中に侵入して果実に寄生した場合、被害が大きい。果実の寄生部位はへこみ、着色が悪くなる。また、虫体の分泌物にすす病菌が寄生して、果実を汚す。	果実に寄生すると、外観を損なう上に奇形となり、亀裂を生じることもある。樹勢の弱った枝での寄生密度が高まると、枝が枯死することもある。	主に発育枝や樹勢の強い当年枝に多く寄生する。葉や果実にすす病を生じるため、特に無袋栽培で被害が生じる。
主な越冬場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>枝幹の粗皮間隙</li> <li>カワモグリの被害跡</li> <li>誘引ひもの中や下</li> </ul>	寄生場所(枝や幹)のカイガラ下	枝や幹
越冬形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>卵(クワコカイガラムシ)</li> <li>幼虫(マツトコカイガラムシ、フジコカイガラムシ)</li> </ul>	幼虫(一部雌成虫)	成虫
有効な休眠期の防除対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>バンド捕殺</li> <li>粗皮削り</li> <li>誘引ひもの更新</li> <li>マシン油乳剤の散布(粗皮削りをしてから散布を行う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虫体のこすり落とし</li> <li>寄生枝の切除(特にナシマルカイガラムシは、寄生の多い枝をできる限り全て切除する)</li> <li>マシン油乳剤の散布(寄生が多い場合はたわしやワイヤブラシ等で虫体をある程度こすり落としてから散布を行う)</li> </ul>	

## ・ 今月の気象予報

### 関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 11月21日から12月20日)

気象庁(11月20日 発表)

< 向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%) >

[ 確率 ]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	10	30	60
降水量	関東甲信全域	20	30	50
日照時間	関東甲信全域	40	40	20

[ 概要 ]

向こう1か月の前半は気温が高く, かなり高くなる可能性があります。天気は, 平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

< 1週目の予報 > 11月21日(土曜日)から11月27日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率60%

< 2週目の予報 > 11月28日(土曜日)から12月4日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率70%

< 3週目から4週目の予報 > 12月5日(土曜日)から12月18日(金曜日)

気温 関東甲信地方 高い確率40%

## ・ テレホンサービス

下記の情報を24時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために, 病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号: 029(226)5321

12月上旬期 イチゴの病害虫防除及び果樹の休眠期防除について

12月下旬期 農薬の適正使用について

### 農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬のラベルを必ず確認し, 適用作物, 使用方法, 注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には, 周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 使用後は散布器具やホース内等に薬液を残さず, 良く洗浄しましょう。